

北海道建設新聞

地域社会の発展に貢献

優れた技術と管理能力評価

道14社の功績たたえ表彰

道は27日、2008年度の農業農村整備事業優秀者感謝状贈呈式を札幌市内のなかで、7で開き、農業への理解を持ち、高度な技術力と豊富な経験で優れた農業農村整備事業に尽力した14社の功績をたたえた。

「農業への理解」に栄誉

この表彰は、農政部が、表彰対象となる当該各支庁を通じて発注した年度各社の工事・委託農機土木工事や測量、調査設計など委託業務の中から、施行成績が特に優秀な企業など功績が顕著な者を選び知事感謝状を贈るもの。

08年度は、農業農村整備事業の減少や、品確法での評価対象としていた社を評価対象としていた。総合評価点として活用していることなどから表彰規定を改定し、工事部門の表彰者数を7者以内から14者程度に拡大した。委託は変更せず者の表彰枠、事業量の減少によ

川市、アスワン(岩別町)、島田建設(網走市)、中本土木(深川市)、林組(2部町)、北辰土木(北見市)、村井建設(北見市)、若狭組(上ノ国町)、渡辺建設(根室市)の12社、委託は、益村測量設計(網走市)とルーラルエンジニア(深川市)の2社。

贈呈式では、近藤副事業調整課長が選考過程を報告。坂井秀利農林振興局長が受賞各社の代表者として挨拶した。感謝状贈呈後、坂井局長は「高い技術力と豊富な経験、農業への理解のほか、最近ではコスト削減も求められ、設計から施工までより高度な技術力が必要」と、農業農村整備の特殊性について触れ、「受賞各社は特徴を理解され素晴らしい成果を取っていただいた」と、各社の功績をたたえた。

また、同局長は、公共工事の品質確保、低入札への対応など道の入札契約制度改革では、皆さんと意見交換しながら進めていきたい」と話したほか、「農業は本道の基幹産業。将来に向かって持続的に発展させ、地域活力の維持のためにも農業農村整備は着実に推進しなくてはならない」と述べ、受賞各社に理解と協力を求めた。



08年度は、工事部門12社、委託2社の計14社が優秀な技術力を認められ栄誉に輝いた

宮坂建設工業(株)

このたび北海道農政部の08年度農業農村整備事業優秀者として知事感謝状を賜りましたこと、大変な名誉であり、お心より深く感謝申し上げます。

代表取締役社長 高坂 寿文

本社 帯広市西4南8の12

電話 0155-239151

建設業許可 国土建設業とび、土木、クリート、管、鋼構造物、舗装、しゅんせつ、造園水道施設

経歴 1963年創業

資本金 1億円

役員 取締役社長 宮坂登代子 取締役副社長 小林俊昭 小林悦子 専務取締役 宇佐美英広 常務取締役 山田治高 道高伸



これもひとえに発注官をはじめとした関係各位のご支援によるもので厚く感謝申し上げます。

今回の受賞を契機に、より一層、技術の研さんにあたり、地域に密着した企業として、また発注者に信頼される企業として地域社会の発展に貢献してまいります。